



技術史教育

Education for History of Technology

ISSN 0917-9089

第111号

2017.7.31

第111号 目次	日本技術史教育学会2017年度総会・研究発表講演会開催報告……………小原 宏之(1)
	日本技術史教育学会2017年度総会報告……………山館 順(2)・(3)
	お知らせ・理事会議事録・編集後記……………(4)

【総会・研究発表講演会開催報告】

2017年度総会・研究発表講演会報告

2017 年度総会・研究発表講演会実行委員会
実行委員長 小原 宏之(玉川大学)

日本技術史教育学会2017年度総会・研究発表講演会が、2017年6月10日(土)に玉川大学・大学研究棟<B-104室>で開催されました。2012年度に引き続き当大学へ皆様をお迎え出来たことを嬉しく思います。総勢30名の方々にご参加頂き、当学園内での活気ある教育研究に関する講演会が出来ましたことに深く御礼申し上げます。

14件の一般研究発表講演が以下の通りに行われました。

《研究発表(1)工業技術・工学教育・技術教育Ⅰ》

(1)「工業デザイン系学校のカリキュラムと科学技術教育との相関関係に関する調査研究」○奥原正弘(東京造形大学)、(2)「応用物理学実験『熱雑音』の新しい試み—生物機械と人工機械の違い—」○田中明美(東京大学)、(3)「マグネシウム空気電池のハイブリッドソーラーカーへの応用」○斉藤純(玉川大学)小原宏之(玉川大学)

《研究発表(2)工業技術・工学教育・技術教育Ⅱ》

(4)「東京・荒川区における鉛筆生産」○吉田喜一(元都立産業技術高専)、(5)「大学初学者対象の教養科目『技術と文化』の実践を省みて」○長谷川雅康(元鹿児島大学)、(6)「端板からの吸い出しを有するサボニウス型風車の起動特性(論理的思考の教育・訓練のために)」○小野寺英輝(岩手大学)佐藤奈津子(元岩手大学)《研究発表(3)科学論・技術論》

(7)「湯之奥中山金山の露天掘跡および坑道掘跡の掘削体積推定」○久間英樹(松江高専)福岡久雄(東京電機大学)小松美鈴(山梨県湯之奥金山博物館)森内敦史(山梨県湯之奥金山博物館)、(8)「Newtonによる解析幾何学と図形解析を考える—円錐曲線軌道と、

Halleyに教えた彗星の天体位置計算—」○田中道彦(信州大学)、(9)「技術数学に向けての群論のすすめ その2—結晶格子群とペンローズ・タイルのJグラフィックス」○西川利男(日本APL協会)、(10)「作家の捉えた『技術』その四—戦時下のラジオと内田百閒」○山館順(サレジオ高専)

《研究発表(4)技術史・技術文化史》

(11)「江戸期和船(弁才船)の造船技術—和船はいわゆるように脆弱であったのか—」○吉田勉(元日本製鋼所)、(12)「アイスマンがもたらした情報」○渡部紘一(元松江高専)、(13)「幅と輔の変遷—絵巻物等絵画資料を中心にして—」○佐々木堯(関西大学)、(14)「亀茲国の鳩摩羅什の遺跡の実地調査研究」○下間頼一(元関西大学)塩津宜子(技術文化史研究会)

発表講演時の質疑・討論では、制限時間を超えるほどの意見交換がなされることもあり、大変活気溢れる講演会になりました。

研究発表講演・総会終了に引き続き学内朔風館食堂にて交流会が執り行われ、研究交流がさらにすすみました。皆様のご協力のお陰で無事終了できたことに感謝申し上げます。

2017年7月15日



日本技術史教育学会 2017 年度総会報告

山館 順(本学会総務担当理事)

2017年度総会は2017年6月10日(土)町田市の玉川大学大学研究棟B104室において開催された。参加人数は25人、小原宏之実行委員長による開会後議長団選出に移り、議長吉田喜一、書記穂積洋一両氏を選出、以下の順に議事進行した。

審議事項1 2016年度事業報告が総務・企画・編集担当各理事よりなされた。

1)総会

2016年6月18日(土)、東京大学本郷キャンパスにて開催(田中明美実行委員長)。全国大会は同年12月10日(土)~11日(日)松江市のサンポートむらくもで開催(久間英樹実行委員長)。

関西支部総会・講演会は2017年3月5日(日)大阪市の大阪産業大学梅田サテライトキャンパスにて開催、3月4日は見学会、関西支部主催。

2)国際会議

「機械設計・機械技術史国際会議2017」2017年8月28日(月)~29日(火)中国北京市の北京航空航天大学で開催予定。

3)他学協会との関連事業

日本科学史学会など、他学協会との関連事業を開催した。

4)学術刊行物の発行

学会誌「技術史教育学会誌」第18巻第1-2号合併号(2017年3月)発行。

ニュースレター「技術史教育」第106~109号(2016年4月、7月、10月、2017年1月)発行。

5)その他

学会規約による日本技術史教育学会の「優秀講演論文賞」の候補者を審査・表彰を行った。尚「功績賞・業績賞」については、学会創立20周年を記念した表彰に変えた。日本学術会議、科学技術振興機構等からの事務的要請に対し、事業協力を行った。他学会からの要請により高度な学術支援を行った。学会HPを定期更新した。

審議事項2 2016年度収支決算報告が堤理事よりなされた。

審議事項3 監査報告が田中道彦監事よりなされ、2016年度事業報告、収支決算報告とも承認された。

審議事項4 2017年度事業計画案が承認された。内容は以下の通り

1)総会・全国大会等

総会は2017年6月10日(土)玉川大学にて開催(小原宏之実行委員長)、全国大会は2017年12月9日(土)~10日(日)に岩手県盛岡市にて開催予定。関西支部見学会・総会・講演会を2018年3月に関西支部担当で開催予定。

2)国際会議開催

「機械設計・機械技術史国際会議2017」は本学会20周年記念事業の一環として、2017年8月28日

(月)~29日(火)の両日、北京市の北京航空航天大学で開催する。

3)他学協会との関連事業

2017年度も日本科学史学会等、他の学協会との関連事業を積極的に開催する。

4)学術刊行物の発行

学会誌「技術史教育学会誌」第19巻第1号(2017年9月)、第2号(2018年3月)発行予定。ニュースレター「技術史教育」第110~113号(2017年4月、7月、10月、2018年1月)発行予定。

5)その他

学会規約による日本技術史教育学会「功績賞・業績賞」「優秀講演論文賞」の候補者を募集、審査・表彰を行う。日本学術会議、科学技術振興機構等からの要請に対し、事業協力を行う。他学会からの要請により高度な学術支援を行う。学会HPを定期更新する。

審議事項5 2017年度予算案を審議し承認された。また学会財政補強の一策として、牛山会長より「企業や会員から寄付集めを行う事を検討できないか。」との提案がなされた。

審議事項6 2017年度表彰、功績賞は長谷川雅康氏、業績賞は西川利男、久間英樹両氏、また優秀講演論文賞は真保光男、本多将和両氏と報告され、表彰状授与式は総会終了後になされた。

審議事項7 関西支部関連報告については渡部理事より、前記の2017年度事業計画案の内容に沿って開催する旨の報告がなされた。

審議事項8 国際会議開催「機械設計・機械技術史国際会議2017」、白井一実行委員長より報告、前記の2017年度事業計画案の内容に沿って開催予定。(学会創立20周年記念事業 前記審議事項4の2)参照)

議長団解任後表彰式に移り、これをもって2017年度総会は閉会した。

以上



受賞者4名と会長



国際会議実行委員長委嘱状を受け取る白井一氏

【2016 年度決算書・2017 年度予算書】

2017年度収支予算書

収支予算書

(単位:円)				
収入の部	2017年度予算額	2016年度予算額	差異	備 考(会計簿項目等)
前期繰越金	106,713	273,878	167,165	
会費収入	726,000	696,000	30,000	6000円×120,3000円(学生会員)×2
論文掲載料	250,000	250,000	0	
雑収入	200,000	200,000	0	印刷料・広告料・賛助会費・雑費等売上金・寄付・雑収入・大会謝金・利息
収入合計	1,282,713	1,419,878	137,165	
(単位:円)				
支出の部	2017年度予算額	2016年度予算額	差異	備 考(会計簿項目等)
会報出版事業費				
印刷製本費	150,000	150,000	0	ニエースレター印刷費(No.110,111,112,113号)
送料	20,000	40,000	20,000	ニエースレター送料(4回)
論文出版事業費				
印刷製本費	650,000	650,000	0	学会誌(2回)、講演論文集(2回)、別冊代
送料	5,000	15,000	10,000	学会誌送料(2回)
その他の事業費				
表彰費	10,000	50,000	40,000	顕彰賞・業績賞・講演論文賞
ホームページ費	40,000	40,000	0	維持管理費
支那助成費	10,000	10,000	0	関西支部
行事支助費	10,000	10,000	0	行事助成費
管理費				
会費	10,000	10,000	0	会費手続・使用費
経費交通費	10,000	20,000	10,000	特別講演録送達費
通信費	60,000	70,000	10,000	経費・切手代・電話料
消耗品等費	5,000	10,000	5,000	事務用品
印刷費	5,000	10,000	5,000	行事案内文書印刷費
雑支出	15,000	15,000	0	印刷手数料・印刷会費・教育関連学会費
事務委託費	240,000	240,000	0	020,000円×12ヶ月
予備費	27,713	59,878	32,165	
当期支出合計	1,282,713	1,419,878	137,165	
特別会計	前期繰越金		220,044円	

2016年度決算報告

収支決算書

(単位:円)				
収入の部	2016年度予算額	2016年度決算額	差異	備 考(会計簿項目等)
前期繰越金	273,878	273,878	0	
会費収入	696,000	731,000	35,000	6000円×115,3000円(学生会員)×2
論文掲載料	250,000	110,000	△140,000	
雑収入	200,000	131,447	△68,553	印刷料・広告料・賛助会費・雑費等売上金・寄付・雑収入・大会謝金・利息
収入合計	1,419,878	1,205,325	△214,553	
(単位:円)				
支出の部	2016年度予算額	2016年度決算額	差異	備 考(会計簿項目等)
会報出版事業費				
印刷製本費	150,000	245,720	△95,720	ニエースレター印刷費(No.106,107,108,109号)
送料	40,000	12,154	27,846	ニエースレター送料
論文出版事業費				
印刷製本費	650,000	350,352	299,648	学会誌(1回)、講演論文集(2回)、別冊代
送料	20,000	0	20,000	学会誌送料(1回)
その他の事業費				
表彰費	50,000	54,648	△4,648	顕彰状作成費
ホームページ費	40,000	40,000	0	維持管理費
支那助成費	10,000	0	10,000	関西支部
行事支助費	10,000	10,000	0	行事助成費
管理費				
会費	10,000	10,000	0	特別講演録送達費
経費交通費	20,000	20,000	0	経費・切手代・電話料
通信費	70,000	123,041	△53,041	経費・切手代・電話料
消耗品等費	10,000	0	10,000	事務用品等
印刷費	10,000	0	10,000	
雑支出	15,000	38,348	△23,348	印刷手数料・印刷会費・教育関連学会費
事務委託費	240,000	240,000	0	020,000円×12ヶ月
予備費	59,878	15,336	44,542	
当期支出合計	1,419,878	1,159,512	260,366	
特別会計				
前期繰越金				
収入	220,044	0	220,044	
支出	0	0	0	
雑収入	0	0	0	
雑支出	0	0	0	
合計	220,044	0	220,044	

会 計 監 査

2016年度の収支決算について監査したところ、決算に誤りはなく、事務が適切に処理されているものと認めます。

2017年 6月 1 日

田中道彦

武藤康彦

印

印

会 計 監 査

会 計 監 査

日本技術史教育学会2017年度全国大会(盛岡) 開催案内と研究発表講演募集

2017 年度全国大会(盛岡) 開催実行委員会
委員長 小野寺英輝(岩手大学)

本学会2017年度全国大会を、2017年12月9日(土)～10日(日)(10日は見学会)に岩手県盛岡市で開催いたします。つきましては会員